

2018年5月14~15日

世論調査 (JNN、NHK、共同=東京)

JNN5月14日1時10分

JNN世論調査、柳瀬氏招致で「疑惑深まった」74%

加計学園問題をめぐり先週行われた柳瀬元総理秘書官の参考人招致を受け、「疑惑が深まった」と感じた人は74%に上ることがJNN世論調査でわかりました。

安倍内閣を支持できるという人は、先月の調査結果より0.6ポイント増え40.6%でした。一方、支持できないという人は、0.7ポイント減って57.7%でした。支持・不支持とも横ばいでしたが、2か月連続で不支持が支持を上回る結果となりました。

安倍総理の友人が理事長を務める加計学園の獣医学部新設問題を巡り、先週、柳瀬元総理秘書官の参考人招致が行われました。

柳瀬氏は3年前、加計学園の関係者と少なくとも3回、官邸で会いながら、安倍総理に対し「報告したことも指示を受けたことも一切ない」と述べましたが、この説明に納得できるか聞いたところ、「納得できない」が80%にのぼりました。

柳瀬氏の参考人招致を受け、与党からは「一定の区切りがついた」という声が上がっていますが、野党側は「疑惑は深まった」としています。どちらの考えに近いか聞いたところ、「疑惑は深まった」と思う人が74%に上りました。

財務省の福田前事務次官によるセクハラ問題をめぐり、麻生財務大臣が「セクハラ罪という罪はない」などと発言しましたが、この発言について「問題がある」と思う人は76%に上りました。

事務次官のセクハラ問題や決裁文書の改ざん問題を受け、麻生大臣が辞任すべきかどうか聞いたところ、「辞任すべき」は49%で、「辞任する必要はない」の37%を上回りました。

来月12日に行われる初の米朝首脳会談について、北朝鮮の非核化につながると、どの程度期待するか聞いたところ、「期待できる」という人が「大いに」と「多少は」を合わせて34%、「期待できない」は「あまり」「全く」を合わせて65%でした。

JNN 世論調査詳報

JNN5月14日

5月12~13日電話調査 単位=% 有効回答1,200人 誤差±2.8% (前回4月7~8日比較 単位=ポイント)

☆内閣支持率

非常に期待できる 24.0 (+0.4)
ある程度支持できる 34.3 (+0.2)
あまり支持できない 36.3 (-0.4)

まったく支持できない 21.4 (-0.3)
NA、わからない 1.7 (±0)

☆支持の理由

安倍首相に期待できる 24.0 (+4.6)
閣僚の顔ぶれがよい 1.6 (-2.2)
政策に期待できる 18.3 (-0.5)
自民党を中心とした内閣 29.4 (-3.5)
特に理由ない 24.0 (-0.7)
NA、わからない 2.7 (+0.8)

☆不支持の理由

安倍首相に期待できない 33.8 (+2.4)
閣僚の顔ぶれがよくない 16.9 (+7.6)
政策に期待できない 18.6 (-5.4)
自民党中心の内閣 19.9 (-2.1)
特に理由ない 7.2 (-3.2)
NA、わからない 3.6 (+0.7)

☆政党支持率

自民党 30.4 (-1.3)
立憲民主 8.3 (-0.5)
公明 3.7 (+0.6)
共産 2.5 (+0.1)
維新 1.8 (±0)
国民 0.8
社民 0.3 (+0.2)
希望 0.3
自由 0.1 (±0)
その他 0.9(+0.1)
支持政党なし 49.1 (+1.8)

☆柳瀬元首相秘書官が参考人質疑で、関係者との面会否定を修正したが

納得できる 10
納得できない 80
NA、「わからない」 9

☆柳瀬元首相秘書官が参考人質疑で、安倍首相の報告せず、指示も受けていないとしたが

納得できる 11
納得できない 80
NA、わからない 9

☆加計学園問題は区切りがついたか

一定の区切りがついた 15
疑惑が深まった 74
NA、わからない 10

☆麻生財務相の「セクハラ罪はない」発言は
問題がある 76
問題はない 18
NA、わからない 6

☆麻生財務相の「文書改ざんは個人の責任」発言は
納得できる 14
納得できない 78
NA、わからない 875
NA、わからない 10

☆麻生財務相の責任は
辞任すべき 49
辞任の必要はない 37
NA、わからない 14

☆国民民主党に期待するか
期待する 15
期待しない

☆北朝鮮の動向について
非常に不安 39 (-7)
多少は不安 45 (+4)
あまり不安感がない 12 (+3)
全く不安感がない 2 (-1)
NA、わからない 2 (+1)

☆米朝首脳会談について
大いに期待 3
多少は期待 31
あまり期待できない 46
全く期待できない 19
NA、わからない 2

☆日朝首脳会談について
出来るだけ早く 30 (+10)
慎重に検討 63 (-7)
行うべきでない 4 (-4)
NA、わからない 3 (±0)

☆自民党の総裁にふさわしい人は
安倍晋三 23 (±0)
石破 茂 34 (±0)
岸田文雄 8 (+1)
河野太郎 5 (±0)
野田聖子 7 (±0)
その他 9 (-1)

NHK世論調査 安倍内閣「支持する」38% 「支持しない」44%

NHK5月14日 19時21分

NHKの世論調査によりますと、安倍内閣を「支持する」と答えた人は、先月の調査と同じ38%だったのに対し、「支持しない」と答えた人は、1ポイント下がって44%で、先月に続いて、「支持しない」が「支持する」を上回りました。

NHKは今年11日から3日間、全国の18歳以上の男女を対象にコンピューターで無作為に発生させた固定電話と携帯電話の番号に電話をかける「RDD」という方法で世論調査を行いました。調査の対象となったのは2187人で、61%にあたる1330人から回答を得ました。

それによりますと、安倍内閣を「支持する」と答えた人は、先月の調査と同じ38%だったのに対し、「支持しない」と答えた人は、1ポイント下がって44%で、先月の調査に続いて「支持しない」が「支持する」を上回りました。

支持する理由では、「他の内閣より良さそうだから」が49%、「実行力があるから」が18%、「支持する政党の内閣だから」が14%でした。

逆に、支持しない理由では、「人柄が信頼できないから」が47%、「政策に期待が持てないから」が25%、「支持する政党の内閣でないから」が8%でした。

先月行われた南北首脳会談を全体として評価するか聞いたところ、「大いに評価する」が10%、「ある程度評価する」が51%、「あまり評価しない」が21%、「まったく評価しない」が9%でした。

先月の南北首脳会談や、来月行われる史上初めての米朝首脳会談を通じて、北朝鮮の核・ミサイル問題の解決につながると思うか聞いたところ、「つながる」が22%、「つながらない」が25%、「どちらともいえない」が45%でした。

安倍総理大臣は、アメリカや中国、韓国の首脳と会談し、北朝鮮の非核化に向けて、連携して対応することを確認しました。これを評価するか聞いたところ「大いに評価する」が12%、「ある程度評価する」が53%、「あまり評価しない」が23%、「まったく評価しない」が5%でした。

安倍総理大臣は、2002年の日朝ピョンヤン宣言に基づいて拉致・核・ミサイルの諸懸案を包括的に解決して、北朝鮮と国交正常化を目指す考えを示しています。これを評価するか聞いたところ、「大いに評価する」が11%、「ある程度評価する」が50%、「あまり評価しない」が25%、「まったく評価しない」が6%でした。

加計学園の獣医学部新設をめぐる、柳瀬元総理大臣秘書官は国会の参考人招致で、「学園の関係者と面会したが、愛媛県や今治市の職員が同席したかもしれない。首相案件とは言うておらず、安倍総理大臣に報告していない」と説

明しました。柳瀬氏の説明に納得できたか聞いたところ、「大いに納得できた」が2%、「ある程度納得できた」が9%、「あまり納得できなかった」が30%、「まったく納得できなかった」が49%でした。

柳瀬元総理大臣秘書官の参考人招致について、与党側は一定の区切りがついたとしています。野党側は、疑惑が深まったとして関係者の国会招致を求めています。招致が必要だと思うか聞いたところ、「必要だ」が47%、「必要ではない」が18%、「どちらともいえない」が26%でした。

民進党と希望の党が結成した「国民民主党」に期待するかどうか聞いたところ、「期待する」が8%、「期待しない」が50%、「どちらともいえない」が34%でした。

NHK世論調査 各党の支持率

NHK5月14日 19時34分



各党の支持率は、自民党が35.9%、立憲民主党が7.9%、国民民主党が1.1%、公明党が3.5%、共産党が2.3%、日本維新の会が0.7%、自由党が0.3%、希望の党が0.1%、社民党が0.3%、「特に支持している政党はない」が40.4%でした。

働き方改革法案「反対」が上回る NHK世論調査

NHK5月15日 5時08分

NHKの世論調査で衆議院で審議が行われている働き方改革関連法案に賛成か反対か聞いたところ、反対が賛成をおよそ10ポイント上回りました。一方で、「どちらともいえない」も半数近くにのぼりました。

NHKは今月11日から3日間、全国の18歳以上の男女を対象にコンピューターで無作為に発生させた固定電話と携帯電話の番号に電話をかけるRDDという方法で世論調査を行いました。

調査の対象となったのは2187人で、61%にあたる1330人から回答を得ました。

政府は、時間外労働に上限規制を設ける一方、高収入の一部専門職を労働時間の規制から外す「高度プロフェSSIONAL制度」の導入などを盛り込んだ働き方改革関連法案を国会に提出しています。

これに対し、野党側は「高度プロフェSSIONAL制度」を削除するよう求めています。

政府の法案に賛成か反対か聞いたところ、賛成が16%、反対が28%、どちらともいえないが46%でした。

憲法改正について、戦力の不保持などを定めた9条を維持したまま、自衛隊の存在を明記することに賛成か反対か聞いたところ、賛成が30%、反対が23%、どちらともいえないが37%でした。

柳瀬氏答弁、納得せず75% 働き方法案不要68% 共同世論調査

東京新聞 2018年5月14日 朝刊

※かつこ内は4月14、15両日実施の
前回調査結果。合計は100%にならない

世論調査の主な結果		今回	前回
内閣支持率	支持	38.9%	(37.0%)
	不支持	50.3%	(52.6%)
働き方関連法案の 今国会対応	成立させるべきだ	20.3%	—
	成立の必要はない	68.4%	—
麻生財務相の セクハラ問題を 巡る発言	辞任すべきだ	49.1%	—
	辞任の必要はない	45.5%	—
米朝首脳会談	期待する	58.0%	—
	期待しない	37.3%	—
「加計学園」に関する問題			
柳瀬元首相 秘書官の 国会での説明	納得できる	14.7%	—
	納得できない	75.5%	—
政府の手続き	適切だった	16.9%	—
	適切では なかった	69.9%	—

共同通信社が五月十二、十三の両日に実施した世論調査によると、加計(かけ)学園の獣医学部新設を巡り、安倍晋三首相の関与を否定した柳瀬唯夫(やなせただお)元首相秘書官の国会での説明に関し「納得できない」が75.5%に達した。納得できるは14.7%だった。安倍政権が今国会の最重要法案と位置付ける働き方関連法案に関し、今国会で成立させるべきかを尋ねたところ「必要はない」が68.4%で、「成立させるべきだ」が20.3%だった。

内閣支持率は38.9%で、四月十四、十五日の前回調査から1.9ポイント増。不支持は50.3%だった。加計学園の獣医学部新設に関する手続きが「適切だったと思わない」との回答は69.9%で、「適切だった」の16.9%を大きく上回った。安倍首相の下での改憲に「賛成」は31.7%、反対は57.6%。

前財務事務次官のセクハラ問題を巡り麻生太郎財務相が女性記者にはめられた可能性が否定できないとの見方を示し、その後撤回したことに関し、麻生氏の責任を聞くと「辞任すべきだ」が49.1%で、「辞任の必要はない」は45.5%だった。

六月にシンガポールで朝鮮半島の非核化を巡り協議する米朝首脳会談に「期待する」は58・0%で「期待しない」は37・3%。結党した国民民主党に「期待する」は18・1%にとどまり、「期待しない」は74・3%だった。

政党支持率は自民党が前回比0・3ポイント増の37・1%、立憲民主党も1・4ポイント増の13・3%となった。国民民主党1・1%、公明党3・7%、共産党4・5%、日本維新の会1・5%、自由党0・7%、新「希望の党」0・7%、社民党0・8%。「支持する政党はない」とした無党派層は34・2%だった。